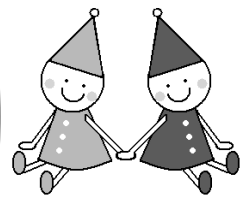


支援センターだより



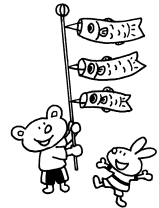
2010.5.発行 vol.67


5月になると、元気村の入口にも鯉のぼりが泳ぎます。

「今日も広場に遊びに来てくれたんだね。ありがとう」と言っているみたいです。

ありがとうは魔法のことば.....

親しい人たちの間でも、やっていただいたことに「ありがとう（ございます）」という言葉が出ると、「いいえ、どういたしまして」とお互いの心が和みませんか。



お母さん、ありがとう 


母の日には、カーネーションに添えてお母さんありがとうの気持ちを贈る習慣が定着したようです。カーネーションの花束よりも心からの“ありがとう”の真心を一枚のカードに託せるのもステキですね。日ごろ面と向かっては言えない「ありがとう」の言える機会（チャンス）かもしれません。

6月にはお父さんにも「ありがとう」を言えますね。我が子に「いつも、ありがとう」と言ってもらえる子育てをしている親御さんたちの素敵さに、支援者の私たちも思わず「ありがとう」！！

赤ちゃんの笑顔は何よりの「ありがとう」では。

何をしてもニコニコ、（要求があれば大泣きもするけれど、）ちょっと誰かがあやせばニコニコ、「あたり（ぼく）、産まれてきて嬉しいの。この命を授けてくださった方に、ありがとう」って言いたいのかもかもしれませんね。そして、この命を産み出してくれた、ステキなママたちありがとう。

私たちの毎日の生活のなかで、色々な方のお世話になっています。例えば、元気村の廊下やトイレや、玄関や庭をいつもきれいに掃除してくれる方たち。目立たないところで作業してくださる方がいるので、気持ちよく施設を使うことができます。いつも、ありがとうと心で思っています。時には声を出して「今日もありがとうございます」と言わせていただきます。私たちは、多くの人に見守られているこの感謝の気持ちを、さわやかな5月の風に乗せてたんぼぼの綿毛のように飛ばします。「ありがとう」を届けてくださいね。

両方 仁子 

..... 詩は声に出して読んでみてください。

《子どもの詩から》

ちょうちょになって

ままと いっしょに
ちょうちょになって
おそらを とびたいね
それでね
きれいな おはなに
とまって
「うふふ」って
わらうの



美桜ちゃん（4歳）

* ママと一緒に、うふふって
嬉しいのです。

ひょうしょうじょう

ひょうしょうじょう
あなたは
けいにほんとうに
やさしくしてくれる
せかいに
たったひとりのおかあさんです



圭くん（小1）

* お母さんの誕生日に、圭くんが
贈った表彰状だそうです。